

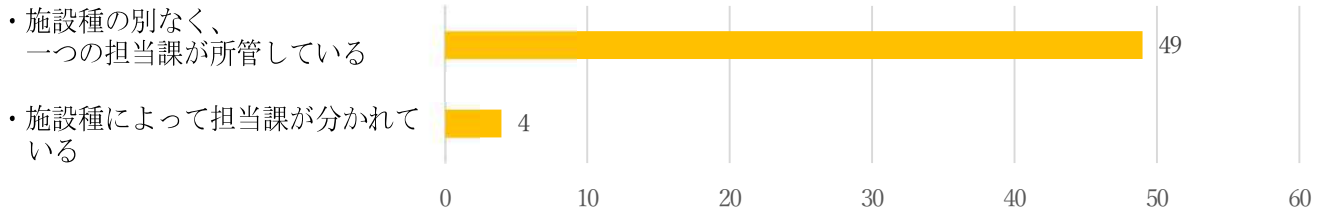
愛知県幼児教育センターアンケート調査結果について

愛知県幼児教育センターでは令和5年7月に県内の幼児教育の体制（状況）について名古屋市を除く53市町村と幼児教育施設を対象にアンケート調査を実施しました。

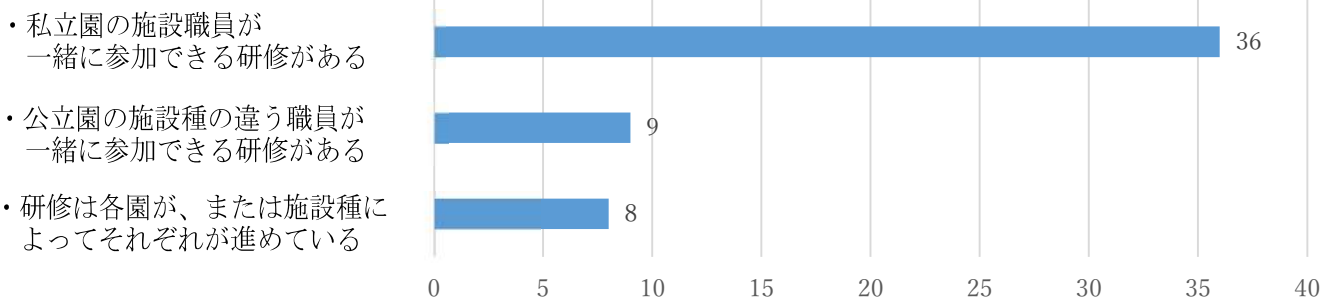
回答を得た、53自治体と、345幼児教育施設（幼稚園、保育所、認定こども園：回答率27%）の現状について、その集計結果を報告いたします。

【各市町村における幼児教育の体制について】※市町村の担当者が回答

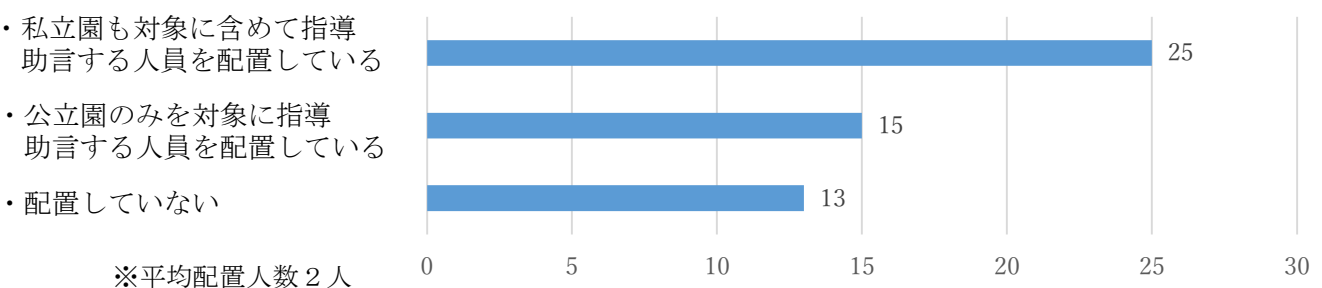
■ 1 自治体での幼児教育施設の所管について（市町村数）



■ 2 自治体が実施する研修について（市町村数）



■ 3 教育・保育内容について園に指導、助言する人員の配置について（市町村数）



■ 4 幼児教育センターの設置について（市町村数）

設置していない	52
設置している	1

※「幼児教育センター」とは、名称に関わらず、幼児教育の内容、指導方法等に関する研修、調査、研究、施設に対する助言や情報提供等の施策を総合的に実施する拠点となるところをいう。

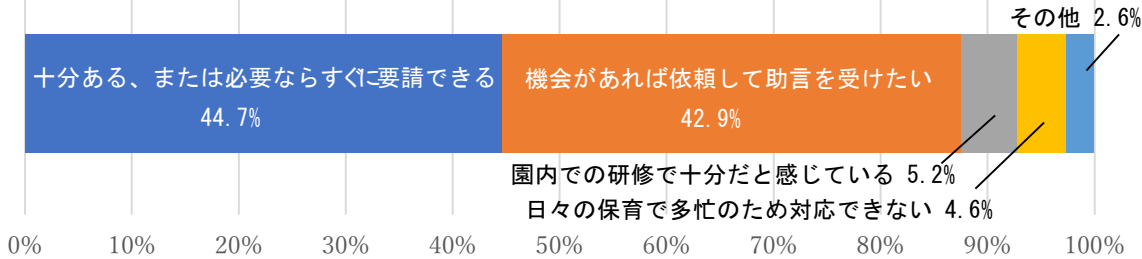
[考察]（市町村アンケート）

- 各市町村での幼児教育施設の所管については53市町村のうち49市町村（92.5%）が一つの担当課で所管している。
- 研修については、36市町村（全体の67.9%）が公私立園の職員が一緒に学べるようにしている。
- 園に指導、助言する人員については、平均で2人という数字が出たが、配置していない13市町村（24.5%）に対して、10数名配置する市もあり、地域による差が大きい。
- 県内の市町村における幼児教育センターの設置は進んでいない。

【各幼児教育施設の現状について】※幼児教育施設（幼稚園、保育所、認定こども園）の園長等管理職が回答
 〈アンケート回収率〉

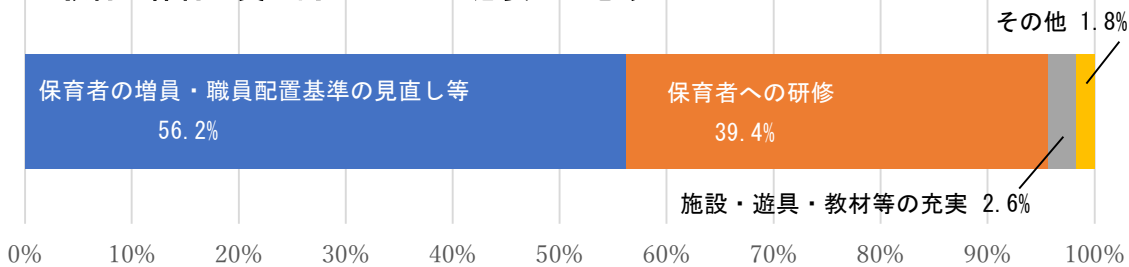
施設種	公立			私立			全体
	幼稚園	保育所	幼保連携型認定こども園	幼稚園	保育所	幼保連携型認定こども園	合計
回答園数	23	130	9	72	67	44	345
回答率	74.2%	22.6%	34.6%	36.4%	22.9%	30.1%	27.2%

■ 5 園の教育・保育内容について外部から助言を受ける機会について



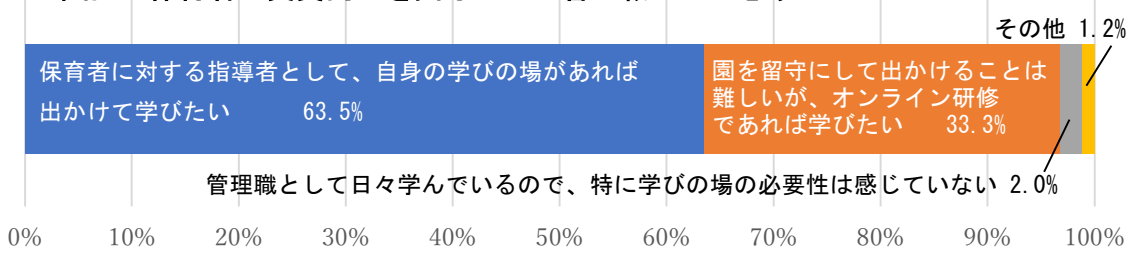
その他のコメント
 ・法人内の助言はあるが、外部の学びの機会は取り入れたい。
 ・各園の事情に合わせた助言をいただきたい。
 ・必要に応じて外部の専門家に相談している。

■ 6 教育・保育の質の向上のために必要だと思うこと



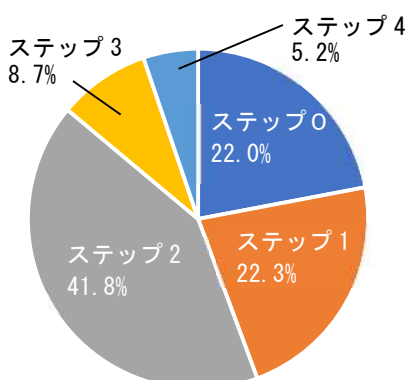
その他のコメント
 ・保育士間のチームワーク保育。
 ・管理職の学びやリーダーシップの発揮。
 ・保護者との協力体制と方向性の理解。

■ 7 園内で保育者の資質向上を図るために管理職として思うこと



その他のコメント
 ・実態に即した学びの場がない。
 ・机上の研修は資質向上にならない。

■ 8 現在の小学校との連携、接続の状況について



ステップ0：連携の予定・計画がまだない。
 ステップ1：連携・接続に着手したいが、まだ検討中である
 ステップ2：年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。
 ステップ3：授業、行事、研究会などの交流が充実し、**接続を見通した教育課程の編成・実施**が行われている。
 ステップ4：接続を見通して編成・実施された教育課程について、実施結果を踏まえ、**更によりよいものとなるよう検討**が行われている。

※幼小接続について、相談したいことがあれば、**幼児教育センターまで御連絡ください。**

【考察】（幼児教育施設アンケート）

- ・外部から助言を受ける機会について「十分ある…」が44.7%、対して「…依頼して助言を受けたい」が42.9%だった。「十分ある」の回答は公立園に多くみられた。
- ・「教育・保育の質の向上のために」の設問で、「保育者の増員、職員配置基準の見直し等」という回答が56.2%で、保育者への研修（39.4%）を上回った。
- ・「保育者の資質向上を図るために管理職として思うこと」は、「学びの場があれば出かけて学びたい」が63.5%だった。オンライン研修での学びの希望（33.3%）を含めると96.8%の管理職が学びの場を求めている。